



心境の変化から生まれた作品——

沼田真佑さん

音楽が好きで、小学生のころから洋楽をよく聞いていました。ギターを弾いたり、歌詞の対訳を読んだりするうちに、演奏や詩を書くこと、絵で表現することなど芸術への興味がどんどん広がっていきました。いろいろな分野に挑戦した中で、ずっと続けることができ、心から面白いと感じられたのが、「文章を書く」ということ。書き始めたのは20代半ばの頃で、たくさんの小説を読んでいっているうちに何となく自分も書きたいと思ったのがきっかけです。好きが高じて、といった具合ですね。

初めのうちは、娯楽性の強い作品を書いていましたが、じっくりくるものがなかなかできませんでした。しかし、東日本大震災や、おいとめいの誕生を経て、心境の変化を感じるようになり、そこから少しものの見方を変えてみようと思うように。等身大の表現を心掛けながら「影裏」を書いてみたら、自分の思いが文章でいくらか表

現できたような気がして、短い作品ではありますが、この「影裏」を文壇新人賞に投稿しました。

文章はもっぱら自宅で書いていますが、時折、歩きながら構想を練ることも。盛岡駅から中津川あたりを歩くのがお気に入りのルートです。街を歩く時は、自分に合った喫茶店が見つければいいなあと思いながら歩いています。

今の自分が書いている小説は、自分に近い世代の読者が多いように感じています。ゆくゆくは、もっと広い世代の心に響く小説を書いてみたいと思います。そのためにさまざまな経験を積み、無理せずゆっくりと成長していきたいですね。



6月3日に開催した啄木祭に出演する沼田さん

写真 de もりおか

市内で開催されたイベントや出来事を紹介します。紙面で紹介しきれなかった写真は、市公式ホームページの取材日記に掲載しています。



取材日記

8月30日

いつ、どこでも、安全確保行動!



地震発生時に身を守る行動を確認するシェイクアウトが行われました。シェイクアウトは、場所や天候を選ばず誰でも参加できる訓練で、当日は昨年を上回る324団体、5万9458人が参加しました。身を守る3つの安全確保行動は「まず低く・頭を守り・動かない」こと。震度6弱の地震が発生した想定のもと、実践した杜陵小の児童たちは、突然の地震から自ら身を守る大切さを再確認しました。

9月1日

啄木の古里が笑顔であふれる



啄木の里ふれあいマラソン大会2019を渋民運動公園(川崎字川崎)周辺で開催しました。快晴の中、1976人が啄木の古里を笑顔で駆け抜けました。ゲストとして来盛した東洋大の酒井俊幸監督や野口英希選手、中野創也選手も、秀麗な姫神山と玉山地域の豊かな自然を楽しみながら走り、参加者や地域の人たちと写真撮影するなどコミュニケーションも楽しんでいました。

9月4日

SNSで広がる可能性に期待



中小企業向けSNS活用セミナー・個別相談会を盛岡劇場(松尾町)で開催しました。このセミナーは、市とフェイスブックジャパンが7月31日に事業連携協定を結んだことで実現したもので、会場には中小企業の社員ら約400人が集まりました。セミナーでは、効率的な宣伝方法や見入ってしまう動画の作り方、将来のSNSの展望などの解説があり、参加者は新しい知識の活用に期待を膨らませました。

9月5日

中学生がカナダの味を堪能



Tokyo2020の事前キャンプのためラグビーカナダ女子セブンズが来盛。ホストタウン給食を通じて市内の子どもたちに、女子セブンズやカナダの文化を知ってもらおうと、土淵中3年生と一緒に給食を食べました。メープルマフィンなど、カナダでよく食べられるメニューが提供され、生徒たちも興味深々。選手と英語で簡単な挨拶や会話を交わし、にぎやかな交流となりました。

もりけんに挑戦(11ページに掲載)の答え ④南部鉄器

広報もりおかへのご意見をお待ちしています アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記

実りの秋。アウトドアのイベントも多く、天候が気になる季節です。台風や大雨などの災害がないことを祈りつつ、日頃から備える意識が大切ですね。(菅原)



地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。